

# 地域循環バス等実証事業

## 背景・目的

本県の陸上交通については、慢性的な交通渋滞の解消及び、県民や観光客の移動利便性の向上を目的に、沖縄都市モノレールや基幹バス等の基幹的な公共交通の整備を行っている。

一方で、基幹的交通が整備されていない地域では、公共交通利用者の減少や、近年の運転手不足等に起因するサービスレベルの低下などの問題が顕在化しており、少子高齢化等の進展も踏まえつつ、移動不便性の課題に対応していく必要がある。

そこで、目的地まで円滑に移動できる環境の構築を図るため、異なる自治体間の交通結節点や地域拠点を繋ぐ地域循環バス等による利便性の高い公共交通ネットワーク(公共交通サービス)のあり方を検討することを目的としている。

## 事業概要

「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)」の策定と合わせて公共交通の将来のあり方の検討を進め、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図ることとしている。

今回、その一環として、異なる地域間の交通結節点や、地域拠点を円滑に移動することができる環境を構築を目的に、地域循環バス等の導入可能性調査を行うとともに、導入可能性のある路線について実証実験を行う。

## 事業実施のスキーム

沖縄県

委託

コンサル等委託事業者  
(導入可能性調査)  
(利用状況調査、効果検証)

交通事業者(バス運行業務)※委託運行

## イメージ図

